



保安品質方針

JCO 事故、福島第一事故のようなこれまでの原子力に関する重大な事故の経験を踏まえ、我々は原子力安全の追求には終わりのないことを肝に銘じ、自ら保安活動の改善を図るため、保安品質に関する活動方針を定める。

- 方針1 「人の安全」「工場の安全」「製品の安全」のすべてを追求する。
- 方針2 常に問いかける姿勢を持ち、違和感があれば立ち止まる。
- 方針3 懸念がある場合は、迷わず意見を表明する。
- 方針4 状況を真摯に正確にとらえ継続的に改善し、トラブルの未然防止に努める。
- 方針5 地域や社会、規制の視点を持ち、丁寧な発信や説明により常に信頼・安心されることを目指す。

重点項目

- 重点1 自らが関わる文書を理解し、自らの意識や認識とのギャップを把握し、必要に応じて見直し、理解と納得の下、手順書に従って行動する。
- 重点2 安全性と効率性を高めた工場を実現するため、新規制基準の経験や最新知見等を反映し、加工事業変更許可を確実に進める。
- 重点3 将来の事業統合を見据え、全社が一丸となって活動することを旨とし、しくみの構築や活動を行う。

2026年6月30日

原子燃料工業株式会社

社長 伊藤卓也